

[Yahoo!ジオシティーズサービス終了のお知らせ](#)[シャンプーを替えるだけ？](#)

hcs-sastty.com

初回限定1本1,000円OFF♪髪をいたわり染める白髪ケア

Ads by Yahoo! JAPAN

**次の夢を追いかけて**

## ず〜っと夢だったスパルタスロンへ

**2007年10月2日** **ビーチ、買い物、帰国の途に**[前日10月1日はこちら](#)

ギリシャで過ごす最後の日。アテネ市街へ行くというジョイナーたちと別れ、一人でビーチを散策。海で泳ぐのができない人なので、波打ち際で足だけ入ったり、きれいな石を集めたりした。

また来れる。当分は毎年来るだろう。完走する力をつけることなんて、できるのだろうか。今まで考えたこともない「トシ」の壁。30台の若い人たちの活躍で初めてそれを感じた。60歳が年々近づいてくる。60台になって時間ができて記録の伸びているウルトラランナーはたくさんいる。今から頑張っておけば、60台も元気で走れるだろう。でも、そういつまでも、記録が伸びるわけではない。とくに速いペースが必要なことは。あと何年できるのか、もう、先送りできない。若いうちにやっておけばよかったのか？いつならよかったのか？もっと速く走れたころは、こんな長い距離走れなかった？そうだけど、あのころやってみたら、できるようになったかもしれない。振り返れば2回くらい。40歳、絶好調だった1シーズン。いや、そのときはまだスパルタスロンは限られた世界だったし、あのころの走り方で長いのにチャレンジしても壊れるだけ。次はフル百回を達成して、ウルトラやりたいなど思ったころ。さくらみちも年々盛り上がっていたし、失敗しながらも、チャンスはあったかも？でも環境が整わず、あまり走れなかった時期だ。大きなこと狙ったら余計ストレスが強まる。やはり潰れていただろう。何年前に？と順に振り返ると、走る生活よりも、人生そのものを振り返ることになる。これまでの人生を否定する気はないし、悔やむこともない。別の人生があればなんて思わない。若い頃に戻りたいと思ったことはない。もう一度やりたいとも思わない。もし若い頃スパルタスロンやっていたら、今こうやってチャレンジしていないだろう。何年かたって、今の私の年齢の人たちを見れば、まだ若いと思うのだから、今からでも間に合う。来て良かったな。

チェックアウト後、荷物を預けると何がおきるかももうこりごりなので、全部持って街に買い物に行った。スーパーでワインやオリーブ買って、めっちゃ重い～。みんなもそのスーパーに買いに来て、空港への車に乗るため、いっしょにホテルまで戻った。

ドバイの物価が高いので、おやつなどの最後の仕入れはアテネ空港で。おいしそうなのが、ここでは以外と安い。トランジットで空腹になったときに備えパンもゲット。✚の席は窓側。しばらくはエーゲ海を見おろしてひとりはいしゃいでいた。東へ飛ぶのでどんどん暗くなり、やがて夜のドバイに。✚ではあまり眠れなかったが、空港についてから眠くてたまらない。免税店には興味ないので、すいている椅子みつけて✚

[10月3日に続く](#)[旅がらすの乱RUN欄 2007年10月に戻る](#)[からっ風の丘からHOME](#)